

環境文教委員会 送付26-1

学校の歴史教育で、自由社か育鵬社の歴史教科書のどちらかを採択するように求める
陳情

受付年月日 平成26年1月7日

陳情者

陳情書

(趣旨)

戦後の日本の歴史教科書は、近隣諸国条項を含め、周辺諸外国に配慮するあまり、日本側から見た正確な歴史観や伝統、文化を学べないだけでなく、日本人として健全な誇りを持っていないような作りになってしまっています。

先の大戦において、日本の事を美化するつもりは、いち日本人としてありませんが、しかし、学校教育においては、より正確で健全な教育が求められます。

同じ出来事でも、日本側から見た史実もあれば、諸外国からみた史実もあります。

例えばですが、先の大戦の事を、侵略戦争として習うのと、自存自衛の戦争として習うのとでは、雲泥の差以上のものがあります。

当時の日本が、侵略を目的として戦争をしたのかどうかは、正しく歴史を学んだものであれば、明白の事です。

先の大戦だけでなく、日本の成り立ち(日本神話) から現在に至るまで日本の史観に立った歴史を正しくきちんと学ぶ事が出来る歴史教科書は、今の日本には無いと思います。

(日本という国は天皇成立に起源を発しているのです、天皇を中心に日本史を描かないと日本の歴史の流れが分かりにくい。その事は、どんなに天皇という存在を否定しようとも、正しく描かないと正しい日本史を学ぶ事ができない。正しく学んでいないために、そのため今の子らは、天皇陛下がどのような存在か、把握しきれていない。)

(意図的かどうかは別にしても、アメリカ、中国、朝鮮等に配慮するあまり、相対的に日本を自虐史観で描かないと話がまとまらない傾向になってしまう。)

現時点で、日本史を正しく学ぶ事が出来る教科書はありませんが、無い中で、マシな歴史教科書を挙げるとすれば、自由社の歴史教科書と育鵬社の歴史教科書の歴史教科書です。

学生に、より正しい歴史を学んでもらいたいので、学校の歴史教育で、自由社の歴史教科書か育鵬社の歴史教科書の、どちらかを採択するように陳情します。

平成26年1月7日

千代田区議会議員 嶋崎 秀彦 様